平成28年度 水防災意識強化週間(9月3日~10日)の取り組み

住民一人ひとりが、平成27年関東・東北豪雨を風化させず、常に水防災を意識する社会を構築するよう、9月3日~10日を「水防災意識強化週間」と定め、国・県・市町・建設業界が連携して集中的にソフト対策を推進しました。

流域・沿川の防災力向上に向けた取り組み

水防災を意識するきっかけを多くの方に提供



人が集まる場所でパネル展示



復旧記録写真を併設



緊急速報メールの配信訓練

関係機関の連携強化



関係者<mark>約100名</mark>の参加により 洪水時の情報伝達を演習

さらに理解を深めてもらい地域の防災力を向上



生徒・児童への防災教育



地域住民に工事進捗状況を説明



常総市の全小中学校で訓練



復興を後押しする取り組み

東京で復旧復興状況を発信



鬼怒川・小貝川アンテナ情報館を開設

各地からの来訪者を増やす



常総市内を巡るウォーキングイベント開催

水防災を意識するきっかけを多くの方に提供

【概要】:関係市町の庁舎等公共施設や商業施設等の人が集まる場所において、水防災の普及・啓発に関するパネル展を実施し、 2万人以上の方にご来場いただきました。多くの方に水防災を意識するきっかけを提供することができました。

【実施期間】: 平成28年9月3日(土)~平成28年9月11日(日)

【実施箇所】:減災対策協議会関係10市町の庁舎等公共施設、商業施設等、関東鉄道常総線駅舎 (計26箇所)

催】減災対策協議会

【協

力】: あけの元気館、イオンタウン守谷、イオンモール下妻、関東鉄道㈱、ショッピングセンターサプラ、

つくばクレオスクエア、ファインズマスダ淵頭店、ボックスヒル取手、八千代グリーンビレッジ憩遊館 やちよ乃湯 (五十音順)

公共施設会場

商業施設会場

関東鉄道常総線駅舎











アンケートで頂いた主なご意見等

■パネル展示内容について

「鬼怒川の被災状況」や「街の状況」を振り返る内容、過去から水と闘ってきた地域の 「地形の特徴」を紹介する内容に高い関心がみられました。

- 「避難指示までに皆がどうするべきかわかりやすく大きく訴えてほしい」、「的確なタイミングで わかりやすく避難開始を促す情報提供が大切」など、今後の避難情報の発信に関すること
- 「自分で判断して行動。行政の指示まちではいけない。」、「気候が変わってきた最近の状況 に合わせ、自分たちも災害に対する意識を変化させ対応した方がいい」など、**自分がすべき** 行動に関すること
- ■ご家族の豪雨災害への備えについて

避難所の確認をはじめ、防災に関する情報収集にも高い関心がみられました。

- 「まだ1年前の出来事なのに、記憶が薄れていて改めて備えの大切さを思い知らされました」、 「雨量と河川水位に応じて自ら避難開始判断できるよう知識を得て備えたい」など、備えの大 切さに関すること
- その他、インターネットで情報が得られない高齢者世帯への対応を心配するご意見など

水防災を意識するきっかけを多くの方に提供

【概要】:豪雨の風化を防ぐため、茨城県建設業協会の主催により「関東・東北豪雨における災害復旧記録写真展」を同時開催

【実施期間】: 平成28年9月3日(土)~平成28年9月11日(日)

【実施箇所】: 鬼怒川・小貝川沿川の商業施設等 5施設

【主催】: 茨城県建設業協会

【協力】:あけの元気館、イオンタウン守谷、イオンモール下妻、ショッピングセンターサプラ、つくばクレオスクエア (五十音順)







展示写真の例示



下妻市前河原地区



常総市平町八間堀川



常総市新石下地区

関係機関の連携強化

【概要】: 関係機関における洪水時の的確な情報伝達を習熟するため、常総市において洪水時情報伝達演習を実施。

・常総市、茨城県、国土交通省下館河川事務所等が、タイムラインにおいて連携する項目を中心に机上形式で演習。

・大規模な洪水が鬼怒川で発生した場合に、常総市内の浸水する危険性の高い地域にある携帯電話やスマートフォンに対して洪水情報を配信する「緊急速報メール」(当日から配信開始)の配信訓練も実施。

【実施日時】: 平成28年9月5日(月) 9:30~11:00

【実施筒所】:きぬ総合公園 水海道総合体育館

【参加者数】:総参加者 98名(演習実施者 45名、視察者 33名、事務局その他 20名)





※当日はマスコミ14社(26名)が参加

演習の成果

- それぞれの関係機関において、「いつ」、「誰が」、「何をするのか」といった情報伝達の流れが再確認できました。
- 緊急速報メールの配信訓練は、地域にお住まいの方に水防災を意識していただくきっかけにもなりました。

さらに理解を深めてもらい地域の防災力を向上

常総市若宮戸地区

【実施日時】: 平成28年8月27日(土)10:30~11:45

【場 所】: 鬼怒川左岸25k付近

(茨城県常総市若宮戸地先)

【参加者】: 茨城県常総市若宮戸工事沿川地区の

住民及び地権者(40名)

【見学内容】: 1期工事の完成状況の説明





下妻市前河原地区

【実施日時】: 平成28年9月3日(土)14:00~15:00

【場 所】: 鬼怒川左岸33k付近

(茨城県下妻市前河原地先)

【参 加 者】: 茨城県常総市前河原工事沿川地区の

住民及び地権者(40名)

【見学内容】: 1期工事の完成状況の説明



さらに理解を深めてもらい地域の防災力を向上

【概要】:常総市内の全ての小・中学校において、「水害を想定した防災訓練」として、洪水時の行動を話し合う防災ゲーム「クロスロード」や、ハザードマップの作成、避難訓練等が行われ、水防災に関する理解を深め地域の防災力を向上。 石下中学校(1年生:123人)では、台風接近時に気をつけることをグループ形式で話し合いを行い、その結果を発表する防災教育が行われ、生徒のみなさんによる活発な話し合いが行われました。

【実施日時】: 平成28年9月1日(木)

【主催】:常総市内の小・中学校

【実施箇所】: 常総市の全ての小・中学校(19校)

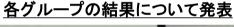
防災教育において生徒のみなさんから出された意見

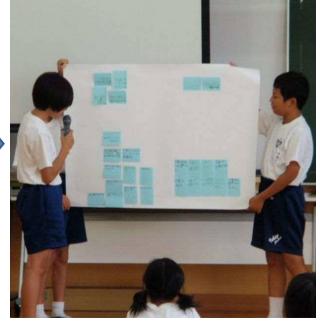
生徒のみなさんからは、台風の進路、雨の強さ、大雨洪水警報、川の水位、避難経路、交通機関の運行に気を付けるなど、幅広い意見が出されました。

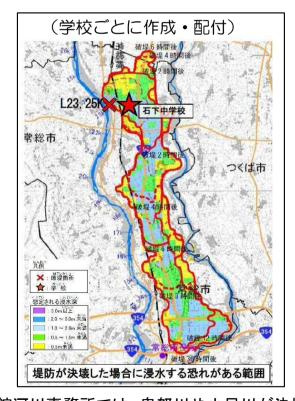
防災教育の様子(石下中学校)

グループ形式で話し合い









下館河川事務所では、鬼怒川や小貝川が決壊 してから小中学校が浸水するまでの時間を示し た資料を作成し、各学校に配布

鬼怒川・小貝川下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会

「水防災意識社会」の再構築を目指します。

鬼怒川・小貝川 アンテナ情報館

復興を後押しする取り組み

東京で復旧復興状況を発信

【概要】:鬼怒川・小貝川の流域外における取り組みとして、期間限定の「鬼怒川・小貝川アンテナ情報館」を開設。

水防災に関するパネル展と併せ沿川市町のパンフレット等を紹介し、地域の復興を後押し。

【実施期間】: 平成28年9月5日(月)~平成28年9月11日(日)

【実施箇所】: つくばエクスプレス秋葉原駅 TXプラザ秋葉原

【主催】:減災対策協議会 【協力】:つくばエクスプレス









復興応援!駅からウォーク in 常総石下

復興を後押しする取り組み

各地からの来訪者を増やす

【概要】:関東鉄道株式会社の主催により、常総市内を巡る復興を応援するウォーキングイベントを開催。ウォーキングコースの 鬼怒川河川敷において、水防災に関するパネル展示を実施し、水防災に関する理解を深めていただきました。 併せて、協力会社による建設機械の展示・試乗体験も実施され、多くのイベント参加者の興味を集めました。

【実施日】: 平成28年9月3日(土) 【参加者数】: 471名

【主催】: 関東鉄道株式会社 【協賛】: 常総線活性化支援協議会 【後援】: 常総市、国土交通省下館河川事務所



イベントちらし(関東鉄道(株))









関東鉄道株式会社において実施された参加者へのアンケートでは、鬼怒川堤防のコースに関するご意見・感想を多数いただきました。(鬼怒川に関する主な感想は以下のとおり)

「決壊現場堤防でのイベントがよくわかり実感できた。」、「鬼怒川決壊現場がコースにあり大変勉強になりました。」、「高所作業車に乗ったり珍しい経験ができた」 など